

(様式 3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成 29 年 2 月

|                     |  |
|---------------------|--|
| 1. 対象事業             | 四日市市公共下水道事業  |
| 2. 実施主体名称           | 三重県四日市市  |
| 3. 計画期間             | 平成 17 年度～平成 25 年度  |
| 4. 対象事業の進捗状況        | 対象事業は、以下の合流改善対策施設を全て計画どおり実施済である。<br>①汚濁負荷量の削減：日永浄化センター高速ろ過施設<br>②公衆衛生上の安全確保：橋北滞水池、納屋滞水池、中央通り貯留管、阿瀬知・常磐貯留管<br>③夾雑物の削減：ポンプ場（4 か所）のスクリーン目幅の縮小   |
| 5. 目標の達成状況と達成の見通し   | (1) 改善目標<br>①汚濁負荷量の削減：放流される未処理下水の汚濁負荷量を分流式下水道並みまで削減<br>BOD 負荷量 160.0t/年 → 121.0t/年 (39t/年削減)<br>②公衆衛生上の安全確保：未処理下水が放流される回数を半減する。<br>未処理放流回数 250 回/年 → 124 回/年 (126 回/年削減)<br>③夾雑物の削減：吐口から流れ出すゴミなどの夾雑物を減らす。<br>4 か所のポンプ場のスクリーン目幅を縮小<br>(2) 目標に対する達成状況<br>①汚濁負荷量の削減：BOD 負荷量 120.1t/年 < 121t/年 【達成】 39.9t/年削減<br>②公衆衛生上の安全確保：120 回/年 < 124 回/年 【達成】 130 回/年削減<br>③夾雑物の削減：ポンプ場 4 か所のスクリーン目幅を 50 mmから 25 mmに縮小し 100%達成 |
| 6. 対象事業の整備効果の発現状況等  | ①汚濁負荷量の削減：BOD 年間放流汚濁負荷量が分流式下水道並みとなり、放流先の公共用水域の水質保全に寄与する。<br>②公衆衛生上の安全確保：未処理下水の年間放流回数が半減することにより、汚濁負荷量や大腸菌群数の放流量が削減され、放流先の公共用水域の公衆衛生上の問題が改善される。<br>③夾雑物の削減：合流式下水道のポンプ場のスクリーン目幅を縮小し、夾雑物の流出を抑制しており、放流先の公共用水域の景観の向上、水環境保全に寄与している。   |
| 7. 事業の効率化に関する取り組み状況 | ・平成 21 年度に緊急改善計画を見直し、効率的に事業を実施した。<br>・日永浄化センター高速ろ過施設は、廃止する最初沈澱池を有効活用して設置した。  |
| 8. 今後の方針            | ・平成 25 年度までに合流改善対策施設が完成し、事業は完了している。<br>・管渠の改築更新を進めることによって不明水対策を推進し、雨天時の流出量を抑制して放流回数のさらなる削減に努めている。<br>・浄化センター更新時に、高度処理化することで環境への負荷削減を図る。  |